



MISSION 1 SERIES

MISSION 1 PRO | MISSION 1



GoProムーブメントに参加しよう



@GoPro



@GoPro



@GoPro



facebook.com/GoPro



@GoPro



pinterest.com/GoPro

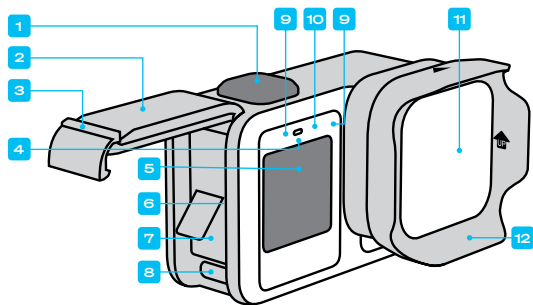
目次

MISSION 1シリーズカメラ 各部の名称	6
はじめに	8
電源オン + 撮影開始	16
フロントディスプレイ	18
リアタッチスクリーン	19
撮影モードとサブモード	21
各種設定	27
ショートカット	35
画像調整	36
水平ロック	37
HindSight	38
ビデオループ	39
音声コントロール	40
タイムコードシンクロ	42
露出コントロール	43
マルチトラックオーディオ	45
HiLightタグ	47
メディアの再生	48
ダッシュボード	51

目次

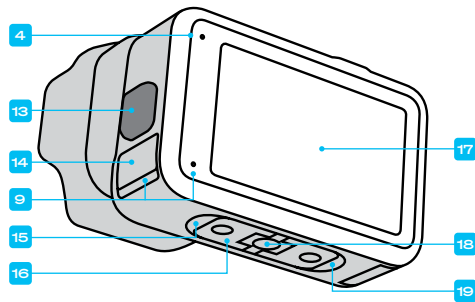
他のデバイスとの接続	52
ハイライトビデオの自動生成	54
メディアの保存と削除	55
ユーザー設定	59
マウント	66
ドアの取り外しと取り付け	72
メンテナンス	73
バッテリーの情報	74
カメラのアラート	77
カメラのリセット	78
トラブルシューティング	80
カスタマーサポート	82
登録商標	82
規制情報	82


MISSION 1シリーズカメラ 各部の名称



1. シャッターボタン 
2. ドア
3. ドアラッチ
4. ステータスライト
5. フロントスクリーン
6. microSDカードスロット
7. バッテリー
8. USB-Cポート
9. マイク
10. 環境光センサー
11. 交換式レンズ
12. レンズフード (着脱可能)

MISSION 1シリーズカメラ 各部の名称



13. モードボタン 
14. ドレインマイクカバー
(排水用です。ドア/ラッチ
ではありません。開かないで
ください)
15. スピーカー
16. フォールディングフィンガー
17. リアタッチスクリーン
18. 1/4-20マウント用ねじ
19. マグネット式ラッチマウント
接続部
(マグネット式ラッチマウント
は別売)

はじめに

SDカード

撮影するには、microSDカード (別売) が必要です。次の要件を満たす有名ブランド製のカードを使用してください。

- ・ microSD、microSDHC、またはmicroSDXC
- ・ 規格クラス：アプリケーションパフォーマンスクラス2 (A2) およびビデオスピードクラス30 (V30) 以上
- ・ 最大容量1TB

推奨されるmicroSDカードのリストについては、gopro.com/microsdcardsをご覧ください。

SDカードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

注意：SDカードは時間の経過とともに劣化し、カメラのメディア保存機能に影響を与える可能性があります。問題が発生した場合は、新しいSDカードに交換してください。

PRO TIP: 定期的にSDカードをフォーマットして、適切な状態に保ってください。SDカードをフォーマットするとすべてのデータが消去されます。必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「SDカードをフォーマット」の順にタップします。

はじめに

リチャージャブルバッテリー

カメラのパフォーマンスを最大限に発揮させるために、必ず付属バッテリーまたはMISSION 1シリーズ用の交換バッテリー (Enduro 2) を使用してください。

PRO TIP: 以下の操作でバッテリーの状態をチェックし、適切なバッテリーを使用していることを簡単に確認することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「バッテリー情報」の順にタップします。

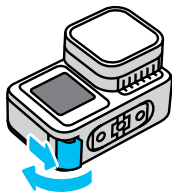


警告： GoPro純正以外のバッテリーを使用すると、MISSION 1シリーズのパフォーマンスが制限されます。GoPro純正以外のバッテリーを使用すると、保証が無効になる場合があります。また火災、感電、その他の安全上のリスクが生じる可能性があります。

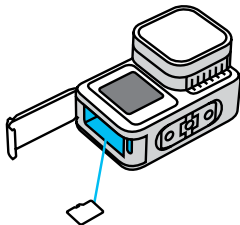
はじめに

SDカードとバッテリーのセットアップ

1. ドアラッチのロックを解除し、ドアを開きます。



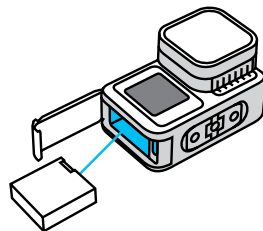
2. カメラをオフにしてバッテリーを取り外し、SDカードのラベルをバッテリーコンパートメント側に向けた状態でカードスロットに挿入します。



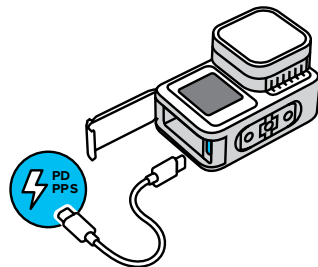
SDカードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

はじめに

3. バッテリーを装着します。



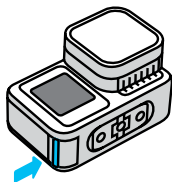
4. 付属のケーブルでカメラをUSB充電器に接続します。



充電が完了すると、カメラステータスライトがオフになります。充電時間は使用する充電器によって異なります。

はじめに

5. 充電が完了したら、ケーブルのプラグを抜き、ドアを閉じます。カメラを使用する前に、ドアラッチが閉じられ、ロックされていることを確認してください。



注:このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

水中や水辺での使用

本機はドアがロックされた状態で水深20mまでの防水性を備えています。ハウジングを取り付ける必要はありません。

水中や水辺で使用する際は、シーリング部分に埃やゴミが付着しておらず、ドアがしっかりと閉まっていることを事前に確認してください。必要に応じて、ドアを閉める前にシール部分を布で拭いてください。シールに汚れ、砂、その他のゴミが付着していると、カメラに水が侵入するおそれがあります。

はじめに

充電器と充電時間

バッテリーの充電時間は、使用する充電器によって異なります。

充電器	80%充電	100%充電
USB PD (PPS対応)	27分	54分
9V / 2A	32分	56分

高速充電

付属のEnduro 2バッテリーは、PPS (プログラマブル電源) 対応の充電器で使用できます。PPS対応充電器は、充電するバッテリーに最適な電力供給を行いながら短時間でフル充電できます。

HERO13 Black用Enduroバッテリー対応

本機ではHERO13 Black用Enduroバッテリーも使用できます。予備バッテリーとして用意しておけば、必要なときにすぐ使えるので安心です。ただし、急速充電には対応していないため、Enduro 2バッテリーほど長時間撮影できません。


注: サードパーティー製のHERO13 Black用バッテリーは使用できません。

はじめに

カメラのアップデート

カメラは、必ずアップデートしてから使用してください。

GoPro Quikアプリを使用した更新

1. Apple App StoreまたはGoogle Playからアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. インターネットに接続できる状態にあることを確認し、モードボタン  を押してカメラの電源を入れます。
3. 画面上の指示に従い、アップデートを完了させます。

PRO TIP: アプリは、カメラに接続するたびに、カメラソフトウェアの更新がないかチェックします。これにより、常に最新の機能を利用し、最適なパフォーマンスを得ることができます。新しいソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

手動による更新

1. gopro.com/updateを参照してください。
2. カメラのリストから「MISSION 1 PRO」または「MISSION 1」を選択します。
3. 「手動でカメラを更新」を選択し、指示に従います。



警告：アップデート中は、カメラからバッテリーやSDカードを取り出さないでください。アップデート中にバッテリーやSDカードを取り出すと、カメラが故障するおそれがあります。

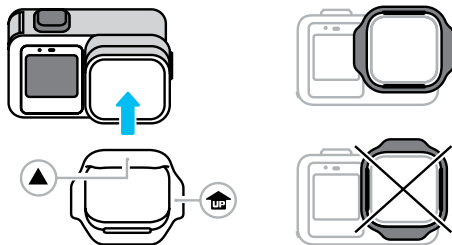
はじめに

レンズフード

日差しが強い場所で撮影する場合は、レンズフードを装着することをおすすめします。グレアやレンズフレアを低減して、高コントラストかつ色鮮やかでクリアな映像を撮影できます。レンズフードを装着すると、レンズ周辺が覆われた状態になります。正しい向きで装着できるように矢印が付いています。

取り付け方

レンズフードとカメラのレンズの位置を合わせ、ゆっくりと取り付けます。正しく取り付けられていることを確認してから撮影してください。正しく取り付けられていないと、レンズフードが映り込んでしまうおそれがあります。




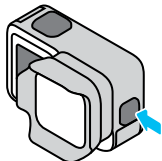
取り外し方

均等に力をかけながら、ゆっくりと引き出して取り外します。


電源オン + 撮影開始

電源オン

カメラの電源をオンにするには、モードボタン  を押します。



電源オフ

電源がオフになるまでモードボタン  を長押しします。


PRO TIP: 電源をオフした後は10分間スタンバイモードの状態になります。この間に再度モードボタンを押すと、すぐに電源がオンになります。スタンバイモード時に再度電源をオンにせずに10分経過すると、完全に電源がオフになります。



警告: カメラやマウントやアクセサリーの取り扱いには、十分に注意してください。使用者および周囲の人々に危険が生じないように、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限しうるすべての法律に従ってください。

撮影

カメラが電源オンの状態の場合、シャッターボタン  を押すだけで撮影を開始できます。もう一度シャッターボタンを押すと撮影を停止できます (ビデオ、ラプス、ライブストリーミングのみ)。

電源オン + 撮影開始



QuikCaptureを使用した録画

QuikCapture (クイックキャプチャー) を使えば、すばやく簡単にカメラの電源を入れて撮影を開始できます。


QuikCaptureのセットアップ

リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。「QuikCapture」をタップしてオンにします。

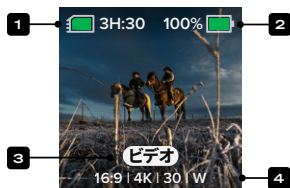
QuikCaptureの使用

1. カメラの電源がオフの状態、シャッターボタン  を押します。
2. シャッターボタンをもう一度押すと、撮影が停止し、カメラの電源がオフになります。
3. カメラが5秒のカウントダウンを開始します。カウントダウン中に、次の4つのオプションのいずれかを選択できます。
 - a. シャッターボタンを押す：すぐに録画が再開します。
 - b. モードボタン  を押す：QuikCaptureが終了し、ビデオ撮影画面になります。
 - c. モードボタンを長押しする：カメラの電源が即座にオフになります。
 - d. カウントダウンが終了するまで待つ：カメラの電源が自動的にオフになります。

注意: QuikCapture開始時にビデオモードが非表示になっている場合、カメラは撮影モードメニューにビデオモードを追加し、そのモードを使用して撮影を開始します。


PRO TIP: カメラをポケットやバッグに収納しているときなど、誤ってシャッターボタン  が押されてしまうおそれがある場合、誤動作による撮影を防ぐためにQuikCaptureをオフにしてください。





フロントディスプレイ



1. 残りの録画時間 / 写真の枚数
2. バッテリーステータス
3. 現在のモード
4. モードの情報

フロントディスプレイの表示方法


1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 「フロントディスプレイ」をタップします。

設定	説明
 フルスクリーン	ライブプレビューをフルスクリーンショットとして表示します。表示用の画像はトリミングされていますが、映像自体はトリミングなしで撮影されます。
 実際の画面	ライブプレビューをトリミングせずに表示します。
 ステータスのみ	ライブプレビューの代わりにカメラのステータスを表示します。
 画面オフ	画面をオフにします。

リアタッチスクリーン



1. 現在の撮影モード
2. 残りの録画時間 / 写真の枚数
3. 画面上のショートカットのカスタマイズ
4. 撮影モード / モードの情報 (タップして設定画面にアクセスして設定を変更可能)
5. バッテリーステータス

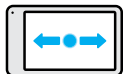
PRO TIP: その他のほとんどの画面でモードボタンを押すと、すばやくこの画面に戻ることができます。

リアタッチスクリーン



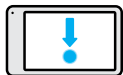
タップ

アイテムを選択し、設定のオン / オフを切り替えます。



左右にスワイプ

撮影モードを切り替えます。



画面の端から下にスワイプ

カメラが横向きになっている場合に、ダッシュボードが開きます。



画面の端から上にスワイプ

最後に撮影した写真またはビデオを表示し、メディアギャラリーにアクセスします。



撮影画面を長押し

露出コントロールをオンにして調整します。

PRO TIP: リアスクリーンをタップすると、フロント / リアスクリーンでカメラのステータス情報とアイコンを非表示にできます。画面をもう一度タップするか、ボタンを押してすべてを元に戻します。

撮影モードとサブモード

撮影モードの選択

MISSION 1シリーズのカメラは多彩な撮影モードを搭載しています。撮影モードを選択するには、リアタッチスクリーンをタップして撮影モードメニューを表示し、左右にスワイプして目的のモードを選択します。



撮影モードの表示 / 非表示

「オープンゲート」、「ループ」、「ダイビング」、「ナイトエフェクト」、「被写体トラッキング」、「Vlog」、「長時間」の各撮影モードは、初期設定では非表示になっています。これらのモードを撮影モードメニューに表示させたり、よく使うモードだけが表示されるようにカスタマイズしたりできます。

1. 撮影モードメニューにあるモード管理ボタンをタップします。
2. 左右にスワイプして目的のモードを表示し、タップしてメニューに追加したり削除したりできます。

モード管理画面で...をタップすると、モードの設定にアクセスしたり、設定を元に戻したり、モードをコピーしたりできます。

PRO TIP: 誤って意図しないモードで撮影されることがないように、使用するモード以外はすべてメニューから削除しておくことをおすすめします。

撮影モードとサブモード

撮影モードとサブモード

モード	サブモード	説明
ビデオ	なし	標準モードでビデオを撮影。解像度は最大8Kです。
低光量	なし	撮影難易度の高い照明条件下でも、ノイズを抑えて明るく高品質なビデオを撮影できます。
スロー モーション	スロー モーション	MISSION 1 PROでは、最大240フレーム/秒で4Kビデオを撮影して8倍スローモーションで再生できます。また、480フレーム/秒で1080pビデオを撮影して16倍スローモーションで再生することもできます。
	バースト スロー モーション	MISSION 1では、120フレーム/秒で4Kビデオを撮影して4倍スローモーションで再生できます。また、240フレーム/秒で1080pビデオを撮影して8倍スローモーションで再生することもできます。 MISSION 1 PROのみの機能として、最大960フレーム/秒で短いビデオを撮影して32倍スローモーションで再生できます。 注意：バーストスローモーション撮影時は、音声コントロール、10ビット記録、マルチトラックオーディオ録音はできません。

撮影モードとサブモード

モード	サブモード	説明
スポーツ POV	なし	没入感のある一人称視点のアクションを撮影できるモードです。ワイドな視野角と最適なビデオブレ補正効果により、躍動感あふれる映像を撮影できます。
写真	シングル	一度に1枚ずつ写真を撮影します。
	間隔	設定した間隔で写真を連続撮影します。
ラプス	バースト	1秒間に最大60枚の写真を撮影し、被写体の動きが速いシーンもしっかり捉えることができます。
	モーション	動きながらも安定したタイムラプスビデオを撮影できます。
ナイト エフェクト (非表示)	固定	カメラを固定してタイムラプスビデオを撮影するためのサブモードです。
	スター トレイル	カメラを三脚などに固定して、夜空を横切る星の軌跡を撮影します。
	ライトペイン ティング	カメラを三脚などに固定して、懐中電灯やライトスティックなどの光源を使ってクリエイティブなビデオを撮影できます。
	ライト トレイル	カメラを三脚などに固定して、走行する自動車の光跡を美しく撮影します。

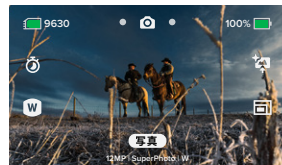
撮影モードとサブモード

モード	サブモード	説明
被写体 トラッキング (非表示)	なし	自撮りや追い撮りで被写体を自動的に追尾しながらフレーム内に収めて撮影できます。
Vlog (非表示)	なし	人物を優先的に捉えて、フレーミングやトーンマッピング、色を調整しながら撮影するモードです。人物をフレーム内に正しく配置して、自然で明るい映りになるように上げます。
ダイビング (非表示)	なし	水中での撮影に適したビデオブレ補正効果と設定により、クリアかつ色鮮やかで安定した映像を撮影できます。
オープン ゲート (非表示)	なし	MISSION 1 PROのみの機能です。センサー全域を使用して、4:3のアスペクト比で最大8K30のビデオを撮影できます。縦横ともに最大視野角で撮影できるので、ポストプロダクションの柔軟性とリフレーミングの自由度が高まります。
長時間	なし	ビデオブレ補正とノイズ低減の効果を抑制して、バッテリー駆動時間と高温環境での性能を大幅に向上させることができます。
ループ (非表示)	なし	古いデータを新しいデータで上書きしながら撮影し続けるモードです。SDカードの容量を節約できます。

撮影モードとサブモード

サブモード

一部の撮影モードでは、さらなる撮影オプションとしてサブモードを選択できます。サブモードを選択するには、撮影画面の下部にあるモードボタンをタップします。



設定一覧が表示されるので、目的のサブモードをタップします。



撮影モードとサブモード

撮影モードの並べ替え

撮影モードメニューでは、表示されるモードの順番を並べ替えることもできます。

1. 撮影モードメニューにあるモード管理ボタンをタップします。
2. 左右にスワイプして、並び替えたいモードを表示します。
3. 並び替えたいモードを長押しすると、画面が並び替えモードに切り替わります。
4. そのままドラッグして目的の位置に移動させます。

カスタム撮影モード

特定のシーンに合わせてお気に入りの設定を組み合わせて、カスタム撮影モードとして登録できます。いつでもすばやく呼び出して同じ設定で撮影できるため便利です。

1. 撮影モードメニューにあるモード管理ボタンをタップします。
2. 右上にある $+$ をタップします。
3. カメラに撮影モードの設定方法が表示されます。

PRO TIP: プリセットに名前を付けることもできます。名前はリストから選択できますが、お好みの名前を付けることもできます。対応言語は英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、スウェーデン語です。GoPro Quikアプリを使用して、新しいプリセットに好きな名前を付けることもできます。

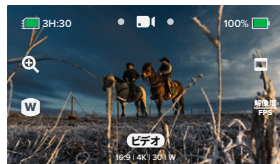
撮影モードのリセット / コピー

1. 設定画面の右上にある \dots をタップします。
2. $+$ をタップすると、撮影モードがコピーされます。
3. \odot をタップすると、プリセットの設定が元の設定にリセットされます。

各種設定

撮影モードにはそれぞれ、固有の設定項目があります。項目を設定するには、設定一覧にアクセスします。

1. 撮影画面の下部にあるモードボタンをタップして設定メニューにアクセスします。



2. スクロールして、調整したい設定をタップします。



3. \leftarrow をタップして保存します。

注意：あらかじめ組み込まれている撮影設定を削除することはできませんが、設定をカスタマイズしたり、独自のプリセットを作成したりすることができます。

PRO TIP: カメラの設定はGoPro Quikアプリでも変更できます。

各種設定

基本設定

各撮影モードには、どのようにビデオや写真が撮影されるかを定める基本的な設定項目があります。設定できる項目はモードによって異なります。

設定	説明
アスペクト比	アスペクト比をワイドスクリーンの「16:9 (スマートフォン、テレビ、YouTubeでの再生向け)」、縦向きの「9:16 (ソーシャルメディア向け)」、縦長の「4:3 (リフレーミングの可能性を広げる)」から選択します。
解像度	ビデオの解像度を選択します。解像度が高くなるほど、画質が向上します。 注意：高解像度で撮影する場合は、お使いのデバイスが高解像度での再生に対応していることを事前に確認してください。
フレームレート	フレームレート (fps) が高いほど速いアクションを撮影するのに適しています。高フレームレートで撮影したビデオはスローモーション再生に使用することもできます。 注意：高フレームレートで撮影する場合は、お使いのデバイスが高フレームレートでの再生に対応していることを事前に確認してください。
出力	写真の処理方法とファイルの保存形式を設定します。「標準」、「SuperPhoto」、「RAW」から選択できます。
メガピクセル	写真の解像度を設定します。「50MP」と「12MP」から選択できます。

各種設定

すべてのモードでの設定の適用

撮影設定、画像設定、オーディオ設定には、設定の変更をすべてのモードに適用させることができる項目もあります。これらの設定項目では「すべてに適用」が選択できます。変更をすべてのモードに適用する場合は、「すべてに適用」を選択してください。「すべてに適用」を選択しないと、現在設定中のモードにのみ変更が適用されます。

撮影設定

撮影内容に追加のオプションを指定できる固有の設定です。設定できる項目はモードによって異なります。

設定	説明
被写体トラッキング	自動的に被写体を画面の中央に配置して撮影できます。フレーミングを気にせず、その瞬間に集中できます。
HindSight	HindSight (ハインドサイト) をオンにすると、シャッターボタン  を押す前の15秒または30秒のビデオを記録できます。
ズーム	スライダーでズーム倍率を変更できます。2倍ズーム時でも4K画質でビデオを撮影できます。
時間	ビデオ撮影やインターバル撮影モードで写真撮影を続ける場合に、自動停止するまでの時間を設定できます。
セルフタイマー	シャッターボタン  を押してから3秒後または10秒後に写真が撮影されるように設定できます。

各種設定

設定	説明
スケジュール キャプチャー	カメラの電源が自動的にオンになって録画を開始する時間を、最大で24時間後まで設定できます。
間隔 (ループモード/ ラプスモード)	ビデオループモードでの撮影時に、ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りするまでにカメラがビデオを記録する時間を設定します。また、インターバル撮影モードで写真を撮影する間隔や、ラプスモード(サブモードは「固定」)で動画を撮影する間隔も設定できます。 PRO TIP: ラプスモードでは、「間隔優先」に設定すると、設定した間隔よりもシャッター速度が長くなって設定した間隔を優先して撮影できます。
バーストレート	短時間の連続撮影で撮影される写真の枚数を設定します。
速度	サブモードを「モーション」に設定して撮影するタイムラプスビデオの速度を設定します。通常速度の2倍から30倍の間で設定できます。「自動」も選択できます。
トレイルの長さ	ナイトエフェクトのトレイルの長さを、ショート、ロング、最大から選択できます。選択した長さで中断なく撮影します。

各種設定

画像設定

ビデオや写真の画質に関する項目を詳細に設定します。ほとんどの項目で「自動」に設定できますが、お好みに合わせて設定を調整することもできます。設定できる項目はモードによって異なります。

設定	説明
画像調整	高度な画像処理アルゴリズムによって被写体の動きや光の状況、人物の有無に応じて撮影設定をインテリジェントに最適化することで、最高の映像を撮影できます。「バランス」「スポーツ」「水中」「顔」から選択できます。
デジタルレンズ	「リニア (広い視野角で魚眼効果はなし、「水平ロック」を設定可能)」、「広角 (日常での撮影やセルフィーに最適)」、「SuperView (縦横ともに非常に広い視野角)」から選択します。
HyperSmooth	ビデオのブレ補正レベルを、オフ、オン(クロップを最小限に抑えつつ最大のブレ補正を適用)、自動ブースト(最大のブレ補正と状況に応じたクロップ量を組み合わせて、最大限の広視野角を確保)から選択します。
HLG HDR	オンにすると10-bitのRec.2100の色空間でビデオを撮影できます。HLG HDR撮影したビデオを再生するには、HLG HDR対応のディスプレイとメディアプレーヤーが必要です。

各種設定

設定	説明
ビット深度	ファイルサイズを小さくする場合は、「8-bit」を選択します。「10-bit」は高い色深度となめらかなグラデーションが特徴で、よりリアルな映像に仕上がります。ポストプロダクションでカラーグレーディングを行う際にも効果的です。
ビットレート	「高」ではビットレートが最大160Mbpsに、「最大」では最大240Mbpsになります。ファイルサイズを最小限に抑えたい場合は「標準」を選択します。
カラー	ビデオや写真のカラープロファイルを調整します。「ビビッド」、「ナチュラル」、「シネマティック」、「フラット」、「GP-Log2」から選択できます。「GP-Log2」ではハイライト部とシャドウ部の情報をより多く記録できます。「GP-Log2」で撮影した映像は、ポストプロダクションでLUTを使用した編集やカラーグレーディングが必要です(LUTは付属)。
シャッター	ビデオモードと写真モードでシャッターが開いている時間を設定します。「自動」、「固定」(シャッター速度を固定)、「範囲」(シャッター速度の範囲を設定) から選択できます。
モーションブラー	モーションブラーをどの程度加えるかを設定します。モーションブラーを最小限に抑えたい場合は「最大限のブラー低減」を、暗いシーンでカメラの動きに合わせてモーションブラーを調整したい場合は「環境適応」を、暗いシーンやNDフィルター使用時に適度なモーションブラーを加えたい場合は「シネマティック低」をそれぞれ選択します。

各種設定

設定	説明
EV値	EV値を補正することで、撮影するコンテンツの明るさを調整できます。EV値を+側にすると、より明るい雰囲気になります。露出オーバーの場合は値を下げてください。
ホワイトバランス	ビデオや写真の色温度を調整します。色温度を下げると、温かい色合いに仕上がります。「自動」も選択できます。
ISO	ISO感度(光に対する感度、ノイズ量にも影響)の最大値や最小値を設定します。「自動」、「固定」(ISO感度を固定)、「範囲」(ISO感度の範囲を設定) から選択できます。
シャープネス	コンテンツの細部の鮮明さを調整します。「低」、「中」、「高」から選択できます。
ノイズ除去	ビデオノイズをどの程度軽減するかを設定します。「低」、「中」、「高」から選択できます。

各種設定

オーディオ設定

被写体や状況に合わせてビデオの音声録音に関する項目を設定します。

設定	説明
オーディオ調整機能	撮影シーンに合わせてどのように音声を録音するかを設定します。「標準」(初期設定)は音声をリアルに記録できるオプションで、ほとんどのシーンに最適です。周囲の背景音を残しつつ声をクリアに記録したい場合は「音声」を選択します。
ウィンド低減	自動(初期設定)、オン、オフから選択できます。自動は必要に応じて風や水による過度のノイズを除去します。オンは常にノイズを除去します。オフは風が音質に影響しない場合やステレオ録音したい場合に適しています。

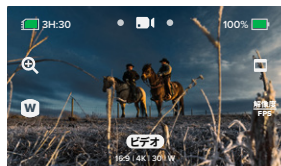
ダッシュボード

ダッシュボードに関する設定を変更すると、通常はすべての撮影モードとサブモードにその変更が適用されます。「ダッシュボードのオーバーライド」をオンにすると、ダッシュボードに関する設定の変更が現在使用中の撮影モードにのみ適用されます。

例えば、小規模なホールでのソロ演奏を撮影するためのカスタムモードを作成する場合は、「ダッシュボードのオーバーライド」をオンにしてからダッシュボードでカメラの電子音とフロントディスプレイを(音や光が演奏の妨げにならないように)オフにすることをおすすめします。「ダッシュボードのオーバーライド」がオンになっているため、設定の変更はカスタムモードにのみ適用されます。その他のモードは、影響を受けません。

ショートカット

画面上のショートカットを使用すると、よく使う撮影設定にすばやくアクセスできます。調整したい設定のショートカットをタップしてください。



ショートカットの切り替え

モードごとに異なるショートカットが予め用意されていますが、最もよく使用する設定に変更できます。

撮影画面で設定する

1. 撮影画面で、切り替えたいショートカットを長押しします。
2. 右側にある使用可能なすべてのショートカットをスクロールして、目的のショートカットを選択します。

設定画面で設定する

1. 撮影画面の下部にあるモードボタンをタップして設定メニューにアクセスします。
2. 「ショートカット」まで下にスクロールします。
3. 新しいショートカットを追加する場所をタップします。
4. 使用可能なすべてのショートカットをスクロールして、目的のものを選択します。

PRO TIP: プリセットごとに異なるショートカットを設定することもできます。

画像調整

高度なアルゴリズムによって撮影設定をリアルタイムで最適化する機能です。シーン検出や顔認識ライブラリなどのインテリジェントなツールが、被写体の動き、光や周囲の状況、人物の有無を撮影中に常に分析して設定を微調整し、最高の映像を撮影できます。ほとんどのビデオモードでこの機能を利用できますが、一部のモードでは特定の画像調整設定に固定されます。

設定	説明
バランス	なめらかなブレ補正効果と最適なコントラスト調整により、屋内外を問わずあらゆるシーンで美しく撮影できます。
スポーツ	アクションの撮影に最適な手ブレ補正効果と高度なトーンマッピングにより、動きが速い被写体や躍動感あふれるシーンでも細部まで鮮明に捉えることができます。
水中	水中での撮影に合わせたブレ補正効果と自動ホワイトバランス調整、さらにはコントラスト向上を組み合わせることで、青かぶりや歪みを低減します。
顔	人物の顔の周辺の露出、トーンマッピング、コントラストを優先して最適化することで、どんな光の状況でも肌を自然で美しく適切な色合いで再現します。

水平ロック

オンにすると撮影中にカメラが360°回転しても映像がロックされ、水平軸または垂直軸上で安定が維持されます。デジタルレンズを「リニア」に設定すると水平ロックを使用できます。アスペクト比は「16:9」と「4:3」から選択できます。ほとんどの解像度とフレームレートの組み合わせで使用できますが、8K60と4K240では使用できません。

水平ロックのセットアップ

1. 撮影画面の下部にあるモードボタンをタップして設定メニューにアクセスします。
2. 「画像」セクションまでスクロールします。
3. 「デジタルレンズ」をタップします。
4. スライダーを使用して「リニア」を選択します。
5. 「水平ロック」をオンにします。

HindSight

シャッターボタンを押した時点から最大30秒前までさかのぼってビデオを撮影できる機能です。決定的瞬間を撮り逃した場合でも、この機能があれば安心です。

HindSightのセットアップ

1. 撮影画面の下部にあるモードボタンをタップして設定メニューにアクセスします。
2. 撮影設定まで下にスクロールし、「HindSight」をタップします。
3. HindSightを15秒または30秒に設定します。

HindSightの使用

シャッターボタン \odot を押して撮影を開始します。HindSightバッファーがいっぱいになると、画面の上部中央にあるインジケーターが青色に変わります。この状態のカメラには、15秒または30秒前からのビデオが記録されています。シャッターボタン \odot を押して録画を開始した場合にのみ、ビデオは保存されます。

注意：HindSightでの撮影を開始する前に、撮影設定を完了してください。HindSightがオンになったら、設定は変更できなくなります。

HindSightの停止と一時停止

「HindSightを停止」をタップするとHindSightを停止してバッテリーを節約できます。またHindSightをオンにした後、15分経っても録画が開始されない場合、カメラ内でHindSightが一時停止されます。これもバッテリーの電力を節約するための機能です。

注意：HindSightは、機能を有効にしている間（録画していない時でも）ビデオを撮影し続ける機能です。使用方法によっては、通常のビデオモードで録画するよりも、カメラのバッテリーを速く消費します。

ビデオループ

ループを使用すると、気に入った瞬間を撮影できるまで連続的にループ録画することで、SDカードの容量を節約できます。何かが起こるのを待っているとき（釣りなど）や、何も起こらないかもしれないとき（車載カメラなど）に使用します。

ビデオループの仕組み


- ・ ループの間隔を5分に設定すると、シャッターボタン \odot を押して撮影を停止した直前の5分間のみが保存されます。
- ・ 5分間撮影してシャッターボタン \odot を押さなかった場合、カメラはループバックして、ビデオの最初から重ね撮りします。

ループの間隔は、1分、3分、5分、10分、20分、30分から選択できます。また、「最大」と設定することも可能です。この場合、カメラはSDカードがいっぱいになるまで録画し、その後ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りします。

音声コントロール

音声コントロールを使用すると、GoProをハンズフリーで簡単に操作できます。

音声コントロールのオン / オフの切り替え

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして音声コントロールをオンまたはオフにします。


音声コントロールを使用した撮影

これらのコマンドを使用すると、ショットの撮影やモードの切り替えを即座に行うことができます。例えば、「GoPro、撮影」と言うと、現在設定中のモードで撮影が開始されるか、モードが切り替わります。ビデオを撮影した直後に「GoPro、写真」と言えば、手動でモードを切り替えなくても写真を撮影することができます。


コマンド	説明
GoPro、撮影	カメラに設定されているモードで撮影を開始します。
GoPro、撮影ストップ	ビデオモードやラプスモードでの撮影を停止します。
GoPro、ビデオスタート	ビデオの録画を開始します。
GoPro、ビデオストップ	ビデオ撮影を停止します。
GoPro、写真	写真を1枚撮影します。
GoPro、パースト	連写で写真を撮影します。
GoPro、電源オフ	カメラの電源をオフにします。

音声コントロール

音声コントロールによるモードの切り替え

以下に記載されているコマンドでモードを切り替えることができます。モードを切り替えたら、「GoPro、撮影」と言うかシャッターボタン を押せば撮影できます。

コマンド	説明
GoPro、ビデオモード	カメラをビデオモードに切り替えます (録画は始まりません)。
GoPro、写真モード	カメラを写真モードに切り替えます (撮影は開始しません)。

PRO TIP: ビデオまたはタイムラプスを録画している場合は、次のコマンドを発声する前に、シャッターボタン を押すか「GoPro、撮影ストップ」と発声して、必ず録画を停止してください。

カメラのコマンド一覧を参照する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「コマンド」の順にタップします。

音声コントロールの言語を変更する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「言語」の順にタップします。

注意: 音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。快適に使えるよう、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ってください。

タイムコードシンクロ

タイムコードシンクロは、GoPro Quikアプリで行います。複数台のカメラ(MISSION 1シリーズやHERO13 BlackやHERO12 Black)でデータと時刻を同期することで、編集をより簡単かつ正確に行うことができる機能です。

1. MISSION 1シリーズカメラとGoPro Quikアプリを接続します。
2. アプリのMISSION 1シリーズカメラのコントロール画面で \bullet をタップします。
3. 「タイムコードシンクロ」をタップすると、QRコードが表示されます。
4. MISSION 1シリーズカメラでQRコードをスキャンします。任意のモードやプリセットを使用できます。

同期が成功するとカメラに通知が表示されます。

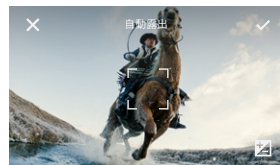
注意：一度MISSION 1シリーズカメラとQuikアプリを接続すると、いつでもQuikアプリのMISSION 1シリーズカメラのコントロール画面からタイムコードシンクロを行うことができます。カメラを接続する必要はありません。

露出コントロール

通常は撮影するシーン全体をカメラが分析して最適な露出レベルを決定します。露出コントロールを使用すると、撮影画面で指定したエリアに合わせて露出を設定できます。

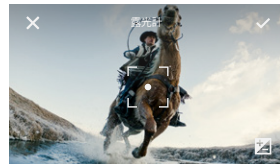
露出コントロールの設定

1. タッチスクリーンの任意の場所を長押しして、四角い枠を表示させます。露出は四角い枠内に基づいて調整されます。




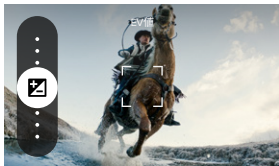
PRO TIP: 画面の中央をタップして押し続けると、露光計が表示されます。画面中央の露光に基づいて露出を設定します。

2. 別のエリアに四角い枠をドラッグすると、露出を変更できます。





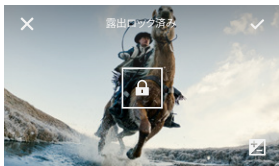
露出コントロール

3. 露出値の補正 (EV値)  をタップします。



スライダーで補正値を設定します。-2.0~+2.0の間で設定できます。

4.  をタップすると露出をロックできます。 をタップすると設定をキャンセルできます。



露出コントロールをオフにする

四角い枠をタップすると露出コントロールがオフになり、シーン全体で露出を決定する自動露出に戻ります。

注意：露出コントロール中にEV値を調整した場合でも、露出コントロールをオフにすると、EV値が初期設定に戻ります。

マルチトラックオーディオ

マルチトラックオーディオのセットアップ

カメラを横向きにした状態で、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、続けて左にスワイプして「接続」と「ユーザー設定」にアクセスします。

- リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
- 左にスワイプし、「接続」と「ユーザー設定」にアクセスします。
- もう一度左にスワイプすると、「オーディオコントロール」にアクセスできます。



接続されているすべての録音デバイスと割り当てられたトラックが、それぞれ個別のタイルに表示されます。

デバイスの階層

デバイスが何も接続されていない場合は、カメラの内蔵マイクがメイントラックの録音に使用されます。デバイスが接続されると、それらに自動的にトラックが割り当てられます。

オーディオトラック

初期設定のデバイス

メイントラック	Bluetoothデバイスまたはワイヤレスデバイス
トラック2	USBデバイス
トラック3	カメラの内蔵マイク

マルチトラックオーディオ

トラックの調整

トラックのタイトルをタップすると、ゲイントリムを調整でき、そのトラックのライブオーディオメーターが画面に表示されます。また、メイントラックを録音するデフォルトのデバイスを変更することもできます。

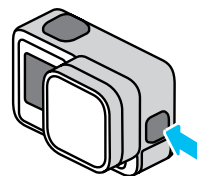
メディアモードによる追加機能

MISSION 1シリーズ用のメディアモード (別売) と組み合わせて使用することで、音声録音に関する多彩な機能を使用できるようになります。

- ・ カメラのマルチトラック録音とシームレスに連携し、ポストプロダクションの柔軟性が大幅に向上します。
- ・ マルチパターン3マイクアレイでモノラル録音やステレオ録音が可能です。
- ・ ビームフォーミング技術により、「単一指向性」、「後方単一指向性」、「双方向性」、「全指向性」、「フォーカステレオ」、「ナチュラルステレオ」、「イマージンステレオ」、「可変ステレオ」の指向性モードを選択できます。
- ・ 3.5mmマイク入力端子 (外部マイク用)、3.5mmマイク入力端子 (ライン入力 / タイムコードシンク口用)、3.5mmオーディオ入出力端子 (低遅延ヘッドホン / ヘッドセットモニタリング用) を搭載しています。
- ・ 外部モニターへ最大4Kの映像を出力できるマイクロHDMI端子を搭載しています。
- ・ さらに別のアクセサリを装着できるコールドシューマウントを2つ搭載しています。

HiLightタグ

ビデオや写真の撮影中や再生中にモードボタン(📷)を押すと、お気に入りの場面にマークを付けることができます。こうすることで、HiLight (ハイライト) タグ👉が追加され、あとから映像を見返す際に検索しやすくなります。

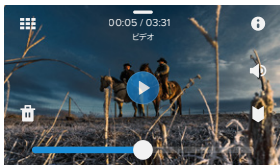


HiLightタグは、GoPro Quikアプリで再生中も👉をタップすることで追加できます。

PRO TIP: Quikアプリは、ビデオを作成するときにHiLightタグを自動検索します。これにより、お気に入りの場面がハイライトビデオに含まれるようになります。

メディアの再生

上にスワイプすると、最後に撮影したビデオ、写真、連写のいずれかが表示されます。左または右にスワイプすると、SDカードの他のすべてのファイルが表示できます。



メディアギャラリーには、次の再生オプションが含まれています。

- 再生を一時停止する
- 再生を再開する
- SDカードのすべてのメディアを表示する
- 撮影に使用したモードとすべての設定を表示する
- SDカードからファイルを削除する
- スローモーション / 通常速度で再生する

メディアの再生



- HiLightタグを追加 / 削除する
- 再生中に音声のオン / オフを切り替える
- 連写または連続写真のグループで前後の写真に移動する

映像のスキャン

再生中に画面をタップしてスワイプすることで、ビデオやバーストフォトをスキャンできます。


ギャラリービューの使用

ギャラリービューを使用すると、SDカードに保存されているすべてのビデオと写真にすばやくアクセスできます。

- 再生画面で  をタップします。
- 上にスワイプしてメディアをスクロールします。
- フルスクリーンビューで表示するにはビデオや写真をタップします。
- 「選択」をタップしてファイルを選択します。
- 再生画面に戻るには、 をタップします。

メディアの再生

複数のファイルの削除

1. をタップします。
2. 削除するすべてのファイルをタップします。ファイルを選択解除するには、ファイルをもう一度タップします。
3.  をタップします。選択したファイルが削除されます。

スマートフォンでのビデオと写真の再生

カメラをGoPro Quikアプリに接続すると、SDカードとクラウドとGoPro Quikアプリに保存されているメディアがすべて表示されます。


コンピューターでのビデオと写真の表示

パソコンでメディアを再生するには、SDカードリーダーを使用してメディアのファイルをパソコンに保存します。

ダッシュボード

カメラを横向きにして、リアスクリーンを下にスワイプすると、ダッシュボードにアクセスできます。



設定	説明
音声コントロール	カメラを声で操作して、ハンズフリー撮影できます。
電子音	カメラの電子音のオン/オフを設定します。
QuikCapture	シャッターボタン  を押すだけでカメラの電源がオンになり撮影を開始できます。
LED	LEDインジケーターのオン/オフを設定します。
画面ロック	誤操作を防ぐために、タッチスクリーンをロックできます。
フロントディスプレイ	フロントディスプレイの表示方法を設定します。
方向	タップするとカメラの向きに合わせて画面がロックされます。
レンズモッド	「自動検出」に設定すると、装着したレンズモッドが自動的に検出されます。手動でレンズモッドを設定するには、長押しします。

他のデバイスとの接続

さまざまなBluetooth対応デバイスと接続して使用できます。接続できるのは、GoPro Quikアプリ、GoProリモートコントローラー、ワイヤレスマイク、離れた位置からでもカメラに音声コマンドを伝えられるワイヤレスイヤホンなどです。

カメラを横向きにした状態で、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。続けて左にスワイプし、「デバイスの接続」をタップします。



デバイスが接続できる状態になっていることを確認し、カメラで次の手順を実行します。

1. リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプします。
2. 「デバイスの接続」をタップします。接続可能なデバイスをカメラが検索します。
3. 接続可能なデバイスの一覧が画面に表示されます。接続するデバイスをタップします。以前に接続されていたデバイスは自動的に接続されます。

他のデバイスとの接続

USBオーディオ

USB-Cケーブルで接続する有線マイクは、カメラのUSB-Cポートに直接接続できます。3.5mmマイクは、GoPro製のUSB-C対応の3.5mmマイクアダプター (別売) などのアダプターを使用して接続できます。

USBからHDMIへの出力

撮影した映像を大画面で鑑賞したり、カメラからのライブ映像を大画面で再生したりできます。USB-C - HDMI変換ケーブルやUSB-C - HDMI変換アダプター (いずれも別売) を使用してカメラをテレビやモニターに接続すれば、大画面で映像が楽しめます。

注意：HyperSmoothビデオブレ補正をオンにして4Kライブ撮影しながら再生する場合は、映像再生に遅延が発生します。

ハイライトビデオの自動生成

注: ハイライトビデオの自動作成や自動アップロードなどのクラウドベースの機能は、中国ではご利用いただけません。

撮影したビデオからハイライトビデオを自動作成できます。作成されたハイライトビデオをスマートフォンに自動転送することもできます。ハイライトビデオを作成するには、GoPro PremiumまたはGoPro Premium+サブスクリプションへの登録が必要です。また、カメラをWi-Fiネットワークに接続できる環境も必要です。

1. gopro.com/subscriptionでGoProサブスクリプションに登録します。
2. コンテンツがカメラからクラウドに自動アップロードされるようにセットアップします。
3. GoPro Quikアプリの画面に表示される指示に従ってセットアップを完了させます。

セットアップが完了したら、カメラを自宅のWi-Fiネットワークに接続し、電源について充電するだけで、コンテンツがクラウドに自動アップロードされます。その後、アップロードされたコンテンツをもとに、音楽のビートとシンクロし、エフェクトが追加されたハイライトビデオが自動作成されます。ビデオが完成して再生やシェアが可能になると、そのことを知らせる通知がスマートフォンに届きます。

カメラを横向きにした状態で、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、続いて右にスワイプすると、「SDカードのステータス」にアクセスできます。この画面で、SDカードのストレージの管理や、GoProサブスクリプションによるクラウドアップロードのセットアップを行うことができます。

メディアの保存と削除



SDカードのストレージ

画面左のセクションには、SDカードの容量と、SDカードに保存されているメディアのうちGoProクラウドにアップロード済みの容量が表示されます。

SDカードの管理

このセクションをタップすると、SDカード内のメディアを削除できます。選択できるオプションは、メディアがクラウドにアップロード済みかどうかによって異なります。


自動アップロードのセットアップ / アップロードの開始

このセクションをタップすると、メディアをクラウドにバックアップできます (GoProサブスクリプションに登録済みの場合のみ)。選択できるオプションはメディアのアップロード状況によって異なります。

メディアの保存と削除

クラウドへの自動アップロード

GoPro PremiumまたはGoPro Premium+サブスクリプションに登録している場合は、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスで表示、編集、共有できます。


1. gopro.com/subscribeまたはGoPro Quikアプリで、GoProサブスクリプションに登録します。
2. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。
3. カメラの「SDカードのステータス」画面またはGoPro Quikアプリの画面のをタップします。
4. カメラを電源に接続します。アップロードが自動的に開始されます。一旦設定すると、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

手動クラウドアップロードへの切り替え

メディアは、好きなときに手動でクラウドにアップロードすることもできます (GoProを電源コンセントに接続し、自動アップロードをオフにする必要があります)。

1. カメラを電源に接続します。
2. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
3. 右にスワイプして「クラウドアップロード」をタップします。

クラウドメディアへのアクセス

1. デバイスでGoPro Quikアプリを開きます。
2. をタップし、「クラウド」を選択して、メディアの表示、編集、共有を行います。

PRO TIP: クラウドメディアを使用することで、メディアをスマートフォンにダウンロードしなくても、GoPro Quikアプリでビデオ作品を作成できます。

メディアの保存と削除

自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続され、フル充電されてもアップロードを行わないように設定することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「クラウドアップロード」の順にタップします。
3. 「自動アップロード」をオフにします。

別のワイヤレスネットワークへの接続

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。
2. 接続したら、アプリの「自動アップロードの管理」をタップします。
3. アプリで「Wi-Fiネットワーク」をタップします。

スマートフォンにワイヤレスで保存する

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。
2. 「ダウンロード」をタップして、新しいコンテンツをアプリにダウンロードします。

スマートフォンに有線接続で保存する

1. 対応ケーブル (別売) を使用して、カメラをスマートフォンに接続します。
2. スマートフォンでGoPro Quikアプリを起動し、画面の指示に従います。

コンピューターに保存する

SDカードリーダーを使用すれば、SDカード内のメディアをパソコンに取り込むことができます。

注意: 低解像度ビデオ (LRV) ファイルとサムネイル (THM) ファイルは、ビューには表示されません。Macでこれらのファイルにアクセスするには、ファイルが保存されているフォルダーを開き、Command + Shift + . (ピリオド) を押します。Windowsでは、エクスプローラーで「表示」>「表示」>「隠しファイル」の順に選択します。




メディアの保存と削除


オートクリア (メディアの自動消去)

メディアがクラウドに安全にアップロードされた後にカメラのSDカードからメディアがすべて自動的に削除されるように設定することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「クラウドアップロードのセットアップ」>「オートクリア」の順にタップします。

GoPro Quikアプリを使用した削除

1. GoPro Quikアプリを開き、をタップしてカメラにアクセスします。
2. 「メディアの表示」をタップして、SDカード上の写真やビデオを表示します。
3. をタップして、削除したい写真やビデオのサムネイルをタップします。
4. をタップします。選択したファイルが削除されます。

PRO TIP: アプリ下部のナビゲーションバーにあるをタップして、アプリ、クラウド、スマートフォンに保存されているすべてのメディアのギャラリービューにアクセスすることもできます。

SDカードの再フォーマットによる削除

再フォーマットは、SDカード上のメディアをすべて消去する最速の方法です。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. スクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「リセット」>「SDカードをフォーマット」の順にタップします。
3. 「フォーマット」をタップすると、ファイルがすべて削除され、カードが再フォーマットされます。

PRO TIP: SDカードを定期的に再フォーマットすれば、カードを良好な状態に保つことができます。

ユーザー設定

カメラを横向きにした状態で、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。続けて左にスワイプし、「ユーザー設定」をタップします。



クラウドアップロードのセットアップ

GoProサブスクリプションに登録している場合は、「自動アップロード」をセットアップするとクラウドアップロードのユーザー設定を行うことができます。

ユーザー設定	説明
自動アップロード	オンにするとメディアをクラウドに自動アップロードできます。
クラウドアップロード	タップするとクラウドへのメディアのアップロードを開始します。
オートクリア	オンにすると、クラウドへのメディアのアップロード完了後にSDカード内のメディアがすべて自動的に削除されます。

ユーザー設定

ワイヤレス接続

ユーザー設定	説明
接続	ワイヤレス接続のオン/オフを切り替えます。
ワイヤレス情報	カメラの名前とパスワードを表示します。
Wi-Fi帯域	接続速度として5GHzまたは2.4GHzを選択します。スマートフォンおよび地域が対応している場合のみ、5GHzを設定します。
接続のリセット	デバイスへのすべての接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。リセットしたら、各デバイスを再接続する必要があります。

一般的な機能

ユーザー設定	説明
電源の自動オフ	1分、5分 (初期設定)、15分、30分、なしから選択できます。
LED	点滅させるLEDを設定します。

ユーザー設定

GPS

ユーザー設定	説明
GPS	映像にテレメトリデータをタグ付けします。このデータをもとにメディアファイルをアニメーションでオーバーレイ表示したり、アルバムを整理したりできます。

オーディオと音声コントロール

オーディオに関するユーザー設定	説明
再生デバイス	ビデオ音声の再生に使用する接続済みデバイスを設定します。
再生音量	再生デバイスからの音量を設定します。
電子音デバイス	カメラの電子音を聞くために使用する接続済みデバイスを設定します。
電子音のボリューム	カメラの電子音の音量を設定します。
RAWオーディオ	RAWオーディオをオフに設定するか、32-Bit Floatまたは24-Bit PCMのいずれかのオーディオを選択します。

ユーザー設定

音声コントロールに関するユーザー設定

説明

言語	音声コントロールの言語を選択します。
コマンド	音声コマンドの一覧が表示されます。
音声コントロールデバイス	音声コントロールに使用するデバイスを設定します。

ディスプレイ

ユーザー設定

説明

スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの時間を、1分、2分 (初期設定)、3分、5分から選択します。「なし」を選択すると、画面がオンのままになります。 注意：カメラのボタンと音声コントロールは、画面がオフになっていても作動します。
明るさ	スライダーを使用して、スクリーンの明るさを調整します。
撮影情報	オンにすると撮影設定の情報が画面に表示されます。
グリッド	オンにするとリアタッチスクリーンに3×3のグリッドが表示されます。フレーミングに便利です。

ユーザー設定

ユーザー設定

説明

HDMIビデオ出力	4Kまたは1080pでのライブ撮影時に、HDMIケーブルで外部ディスプレイに接続して映像を再生できます。 注意：この機能を使用するには、HDMI接続する必要があります。HyperSmoothで撮影する場合、4Kの映像再生に遅延が発生します。
-----------	---

日付と時刻

ユーザー設定

説明

自動設定	オンにするとGPSによって日付と時刻が自動的に設定されます。
日付	日付を手動で調整できます。
日付形式	カメラの日付表示形式を設定します。
タイムゾーン	カメラのタイムゾーンを設定します。
時刻	時刻を手動で調整できます。
夏時間	現在夏時間を実施している地域にお住まいの場合は、夏時間をオンにします。カメラの時計が1時間進みます。夏時間が終了したら、オフにして標準時間に戻してください。

ユーザー設定

地域

ユーザー設定	説明
言語	カメラで使用する言語を選択します。
地域フォーマット	屋内照明による光のちらつきを防ぐため、お住まいの地域の電源周波数に合わせて設定します。お住まいの地域の電源周波数を確認してから設定してください。
アンチフリッカー	必要に応じて、ちらつきを防ぐためにシャッター速度を自動調整します。

概要

ユーザー設定	説明
カメラの更新	カメラのソフトウェアを更新すると、最新の機能を利用できるようになり、パフォーマンスが向上します。
カメラ情報	カメラの名前、シリアル番号、およびカメラが使用しているソフトウェアバージョンを確認できます。
バッテリー情報	バッテリーの状態を確認できます。

ユーザー設定

規制

ユーザー設定	説明
規制	GoProの認定情報を表示します。

リセット

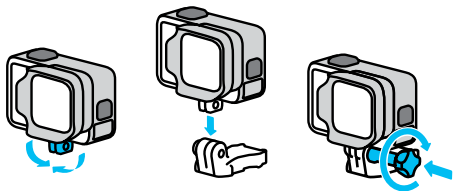
ユーザー設定	説明
SDカードをフォーマット	SDカードをフォーマットします。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。
モードのリセット	あらかじめ組み込まれているモードをオリジナルの設定にリセットし、すべてのカスタムモードを削除します。
カメラヒントのリセット	カメラのヒントを最初からすべて確認できます。
出荷時リセット	カメラの設定をすべて復元し、すべての接続をクリアします。

マウント

マウントフィンガーの使用

使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、カメラを直接マウントに取り付けます。

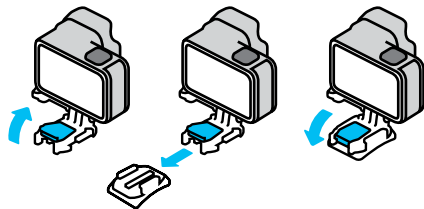
1. フォールディングフィンガーを押し下げてマウントできる状態にします。
2. カメラのフォールディングフィンガーを、バックルのマウントフィンガーとかみ合わせます。
3. サムスクリューを使用して、カメラをマウント用バックルに固定します。



マウント

マウント用バックルの取り付け

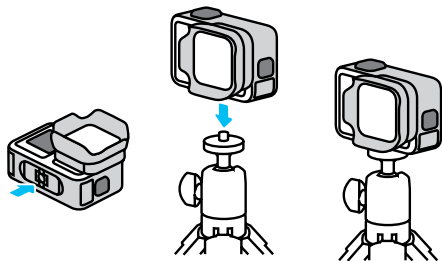
1. マウント用バックルプラグをはね上げます。
2. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
3. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになりますようにします。



マウント

1/4-20マウントの使用

マウントフィンガーに加えて、一般的な三脚やカメラアクセサリを装着できる1/4-20ネジ穴も装備しています。

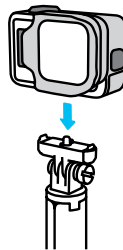


警告：過酷な環境で1/4-20マウントにGoProを取り付けると、緩んだり外れたりする恐れがあります。過酷な環境では、安定性の高いマウントフィンガーを使用してください。

マウント

マグネット式ラッチマウント

マグネット式ラッチマウント (別売) は、最も簡単にカメラをマウントできるアクセサリです。延長ポールやボディマウントなどのギアに取り付けるだけで使用できます。



マグネットによってカメラが正しい位置にセットされるため、カメラをカチッとはめ込むだけでカメラを取り付けできます。また、自動ロックのラッチをつまめばカメラを取り外すことができます。これまで以上に簡単にマウントの切り替えを行うことができます。gopro.comでお買い求めいただけます。

マウント

粘着性ベースマウントの使用

ヘルメット、車両、およびギアに粘着性ベースマウントを取り付けるときには、次のガイドラインに従ってください。

- ・使用する24時間以上前にマウントを取り付けます。
- ・マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらざらした表面には、きちんと貼り付きません。
- ・マウントを押して、しっかりと取り付けます。粘着面の全体が取り付け箇所と接触していることを確認します。
- ・必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ほこりなどがあると、接着が弱まり、カメラが落下する可能性があります。
- ・湿度が低い、室温の環境でマウントを取り付けます。低温または湿度の高い環境や、低温または湿気のある表面には、適切に貼り付きません。
- ・機器（狩猟用具など）にカメラを取り付けることが許可されているかどうか、州や現地の法令、法律を確認してください。家電やカメラの使用を規定する法律に常に準拠してください。



警告：思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントする際には流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けしないでください。

マウントの詳細については、gopro.comをご覧ください。

マウント



警告：GoProヘルメットマウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。

実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。ヘルメットを装着すれば確実に怪我を防げるというわけではありません。安全を維持してください。

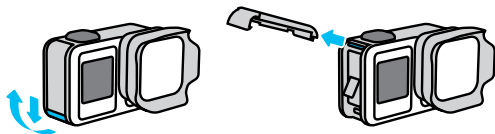
ドアの取り外しと取り付け

注:ドアは乾燥した、ほこりのない環境でのみ取り外します。ドアが開いていたり外れたりしている状態では、防水性能は発揮されません。

ドアの取り外し

Contactoマグネット式ドア (別売) などのアクセサリーを使用する場合は、ドアを取り外す必要があります。

1. ラッチを押し下げてロックを解除し、ドアを開きます。
2. ドアを水平にした状態で、カチッと音がするまで外側にゆっくりと引きます。



警告: ドアを外した状態でGoProを使用しないでください。使用中にバッテリーが外れてしまう可能性があります。

ドアの取り付け

1. ドアを小さな取り付けバーに合わせます。
2. ドアをバーにしっかりと押し込みます。所定の位置でしっかりと固定されるまで押し込んでください。



警告: ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- 本機は水深20mまでの防水性能を備えています。水中でもハウジングなしで撮影できます。水や土、砂の中で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ドアを閉じる前に、防水パッキンにチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布で防水パッキンを拭きます。
- ドアを開ける前に、GoProが清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、カメラをぬるま湯に15分ほど浸して、その後十分にすすいで砂や泥を完全に取除いてください。ドアを開ける前に、カメラが濡れていないことを確認してください。
- 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイクの挿入口から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- 塩水が付着した場合は、その都度必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- ゴミがレンズとトリムリングの間に詰まっている場合は、水や空気を取り除きます。レンズ周りに異物が入らないようにしてください。

バッテリーの情報

電源接続時の撮影

カメラに付属しているUSB-Cケーブルを使用すると、カメラを外部電源に接続しながらビデオや写真を撮影できます。

録画中は、SDカードスロットの周辺に触れないように注意してください。SDカードに触れると、録画が中断または停止される可能性があります。このような不具合が発生しても、コンテンツが破損や消失することはありませんが、カメラの再起動が必要になる場合があります。

カメラをプラグにつないでいても、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。

注意：充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

PRO TIP: USBパススルードア (別売) を使用すると、外部電源に接続しても防水性を維持し、そのままバッテリーを使い続けられます。



警告：充電には、地域の規制要件 (UL、CSA、VDE、CCCなど) を満たした、関連機関による認可済みの電源のみを使用してください。規格に適合していない電源アダプターやケーブルを使用した場合、カメラのバッテリーが破損したり、火災や液漏れが生じたりするおそれがあります。

バッテリーの情報

バッテリーの保管と取り扱い

本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリー駆動時間が一時的に短くなったり、カメラが一時的に誤作動したりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境では使用しないでください。製品の内部 / 外部に結露が発生する可能性があります。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。カメラ内部に水や液体が侵入してカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

貨幣や鍵、ネックレスなどの金属と一緒にバッテリーを保管しないでください。バッテリーの接触子が金属に触れると発火するおそれがあります。

許可されていない改造をカメラに加えしないでください。許可されていない改造を行うと、安全などの法令に違反したり、システムのパフォーマンスが低下したりするほか、保証の対象外となります。

注意：低温環境下では、バッテリー容量が低下します。古いバッテリーになるほどこの影響は大きくなります。定期的に低温下で撮影を行う場合は、最適なパフォーマンスを維持するため、1年に1回バッテリーを交換してください。

PRO TIP: バッテリー寿命を最大限に延ばすために、長期保管する際は事前にフル充電してください。

バッテリーの情報



警告: カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿刺、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-Cポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂や穴がある場合や、水没などが原因で破損した場合、カメラを使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

バッテリーの廃棄

ほとんどの充電式リチウムイオンバッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域では、バッテリーをリサイクルすることが義務付けられています。お住まいの地域の規制を調べ、通常のゴミと一緒に充電式バッテリーを廃棄できるかどうかご確認ください。リチウムイオンバッテリーを安全に廃棄するために、接触子が他の金属に触れないよう、梱包テープ、マスキングテープ、絶縁テープなどで適切に覆い、輸送中に発火しないようにしてください。

ただし、リチウムイオンバッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、リチャージャブルバッテリーリサイクリングコーポレーション (RBRC) のバッテリーリサイクリングプログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様は、Call2Recycle (URL: call2recycle.org、電話: 1-800-BATTERY) に最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

バッテリーは火に投じると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。



警告: GoPro交換用バッテリー、電源ケーブル、バッテリー充電用アクセサリ、デバイスは、カメラでのみ使用してください。

古いGoProバッテリーやGoPro純正以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。さらに保証の失効、火災、感電などの危険性もあります。

カメラのアラート

問題が発生することはまれですが、異常があればメッセージで通知されます。

メッセージ

説明

カメラの温度が高すぎます

本機の動作温度は-20°C~45°Cです。カメラ本体の温度が高くなりすぎるとシャットダウンします。この場合は、カメラを冷却してから使用してください。

SDカードエラー

SDカードに不具合が生じています。カメラの電源を入れ直してください。破損したファイルは修復され、カメラは完全に機能できる状態に戻ります。

ファイルの復旧

このメッセージが主に表示されるのは、録画中にカメラの電源が切れた場合や、ファイル保存中に問題が発生した場合です。ファイルの修復中やファイルの復元が完了した場合にはメッセージが表示されます。

SDカードの規格


SDカードの規格がアプリケーションパフォーマンスクラス2 (A2) やビデオスピードクラス30 (V30) を満たさない場合や、経年劣化によって規格ごとの性能を発揮できなくなった場合は、メッセージが表示されます。

バッテリー残量低、電源をオフにします

バッテリー残量が10%未満になると表示されます。撮影中にバッテリーが切れた場合は、撮影が停止してビデオが保存されてから電源がオフになります。

カメラのリセット

GoProの再起動

カメラを操作しても反応しない場合は、モードボタンを10秒間長押しします。これでカメラが再起動します。設定は変更されません。

モードを初期設定に戻す

モードの設定をすべて初期設定に戻すことができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「モードのリセット」の順にタップします。

注意：モードの設定を初期設定に戻すと、カスタムモードが消去されます。

接続のリセット

デバイスの接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。接続をリセットすると、お使いのすべてのデバイスで再接続が必要になります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」 > 「接続のリセット」の順にタップします。

カメラのヒントのリセット

カメラのヒントを再確認したい場合は、次の方法で最初からすべて表示することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「カメラヒントのリセット」の順にタップします。

カメラのリセット

出荷時設定に戻す

カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアして、GoProサブスクリプションからカメラの登録を解除します。

これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「出荷時リセット」の順にタップします。

注意：出荷時の設定を復元しても、SDカードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えたりすることはありません。

トラブルシューティング

電源が入らない

本機が充電されていることを確認してください。充電されていても電源が入らない場合は、モードボタン(🔘)を10秒間長押しして、本機を再起動してください。

ボタンを押しても反応しない

モードボタン(🔘)を10秒間長押しして本機を再起動してください。

コンピューターでの再生が途切れる

通常、画像の途切れはファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- ・コンピューターがHEVCファイルをサポートしていない。
GoPro.com/appsでMac用またはWindows用GoProプレーヤー (無料)の最新バージョンをダウンロードしてください。
- ・お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。
- ・お使いのコンピューターの性能が、設定した解像度やフレームレートのビデオを再生する条件を満たしていない。低い解像度やフレームレートでビデオを撮影してください。

カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。左にスワイプし、「ユーザー設定」>「ワイヤレス接続」>「ワイヤレス情報」の順にタップします。

実行中のソフトウェアのバージョンがわからない

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。左にスワイプし、「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」の順にタップします。

トラブルシューティング

カメラのシリアルナンバーが見つからない

シリアル番号は、カメラのバッテリーボックス内に刻印されています。また、リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、さらに左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」の順にタップしても確認できます。

よくある質問の他の回答については、gopro.com/helpをご覧ください。

カスタマーサポート

GoProはベストサービスに万全を期しております。GoProカスタマーサポートへのお問い合わせは、gopro.com/helpをご覧ください。

登録商標

GoProおよびそのロゴは、米国およびその他諸国におけるGoPro, Inc.の商標または登録商標です。Bluetoothの文字商標およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、これらの商標を使用する際は、許可を得て使用しています。その他すべての商標は各所有者に帰属します。© 2026 GoPro, Inc. All rights reserved.特許に関する情報については、gopro.com/patentsをご覧ください。GoPro, Inc., 3025 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Baierbrunner Str.15 Bldg. D, 81379 Munich, Germany

規制情報

このカメラは、GoPro Quikアプリに接続してクラウドへの自動アップロードを行う際、およびライブストリーミングを行う際に、HTTP、HTTPS、RTMP / RTMPSプロトコルを使用してデータを送信します。

国別の認定証明の一覧は、カメラに付属の「製品および安全に関する重要事項説明書」またはgopro.com/helpをご覧ください。

